



みもぎホールの子年バナー

特養



山下 サチ子 様  
ご飯をしっかり食べて  
元気に過ごします。



大窪 都洋加 様  
元気に過ごします。

デイサービス  
みもぎ



佐藤 ハルエ 様  
転ばないように気をつけて  
頑張りたい。

子年  
年男  
年女

デイサービス  
センター



佐藤 ユリ子 様  
96歳!もうそげーなるかなあ。  
いけるとこまで頑張ります。



鎌田 マス子 様  
デイサービスを休まず、  
皆勤賞をめざします。

青春塾



小野 弘文 様  
ねずみの様に迅速に動き、働  
いければ一番の理想と思いま  
すが、阿呆な男の初夢か?  
出来ない!と知りつつも!!



大野 勝子 様  
今年も元気で青春塾に  
毎日でも行きたいです。

けんしん りんご寄付



12月13日、大分県信用組合よりご利用者の皆様へクリスマスプレゼントとしてりんごをいただきました。「一日一個のりんごは医者や遠ざける」ということわざがあるように健康づくり運動の一環として同組合が取り組んでいるとのこと。  
なお、いただいたりんごは10月の台風19号で被災を受けた長野、福島、山形3県のりんご農家支援を目的としたものです。ありがとうございました。

編集後記

あけましておめでとうございます。寒い日が続いておりますが、お変わりなくお過ごしでしょうか。情和園では秋冬も様々な催しがあり、ご利用者・職員とも楽しい時間を過ごしています。これからも、素敵な笑顔がたくさんお届けしていきたいと思っております。本年もよろしくお祈りいたします。皆様のご健康とご多幸を心よりお祈りしております。

広報委員 後藤歩美

ご協力ありがとうございました。



青春塾で集めた台風19号の義援金を令和元年11月14日(木)に大分合同新聞社へご利用者代表の大野ユリ子様・後藤トヨ子様・井立職員で届けました。



「地域で共に生きる」

社会福祉法人情和園理事長 土師 壽三



新年明けましておめでとうございます。子年となりました。十二支の初めの良き年を皆様には清々しくお迎えになられたことと、まずはお慶び申し上げます。  
改めて「令和」という元号をかみしめたく思います。出典は、万葉集梅花歌三十二首の序に、次のように歌われています。  
干時初春令月 氣淑風和  
梅披鏡前之粉 蘭薫珮後香  
読み下しますと、  
「初春の令月にして氣淑く風和らぐ。梅は鏡前に粉を披き、蘭は珮後

の香を薫らす」  
初春の良い日、空気が澄んでいて風は和やか。梅の花は鏡の前で白粉で化粧したように白く、蘭は香のように薫っている。  
何と芳しく、穏やかで調和のとれた調べでしょうか。まさに新しい年のスタートに相応しい元号とと思われます。  
少子高齢化が進行し、人間関係の希薄化やコミュニティ活動の低下が危惧されています。私も情和園は、昨年末から由布市社会福祉法人施設経営者協議会のモデル事業として、「エンジョイ買物」事業をスタートさせました。住み慣れた地域に住み続けていただくために、由布市社会福祉協議会や関係の皆様のお力をお借りし、定期的なバスを走らせて買物や見守りのお手伝いをしようというものです。今後も地域共生社会の実現に微力を尽くして参ります。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

ご長寿万歳

11月7日、由布市男性最高齢として小野常太様(102歳、大正8年5月生)のお祝い、100歳祝いに伊藤キヌ子様(100歳、大正6年11月生)と曾根崎幸榮様(100歳、大正6年11月生)の2名のお祝いに由布市長が来園されました。



小野 常太 様  
(102歳)



伊藤 キヌ子 様  
(100歳)



曾根崎 幸榮 様  
(100歳)